

# 令和4年度 事業報告

## 概要

令和元年度末から続く新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に落ち着き、個人消費・設備投資・雇用情勢とも持ち直しが続いている経済状況下において、当センターの事業実績も以前の状況にまで回復しつつあります。また、全国のシルバー人材センターにおいて新たな課題となっている「改正高齢者雇用安定法」や「消費税インボイス制度」など将来への影響なども想定しつつ、センターがいかに地域に参画し貢献するかをふまえ、人手不足分野での就業開拓や地域実情に即したニーズへの対応など、地域社会の課題の担い手として存在意識を高めるため事業に取り組んできました。

当センターでは、令和4年度も引き続き地域社会に貢献し、また期待されるべく様々な事業を展開するとともに、就業開拓、新規入会者の獲得並びに安全就業対策に力を入れて参りました。

事業実績としては、令和5年3月末の会員数は744人で、前年度同期(754人)に対し10人(1.3%)の減、契約金額は371,469,292円で、前年度同期(366,172,866円)に対し5,296,426円(1.4%)の増と、概ねコロナ禍前の状況(令和元年度)に復調することができました。これらは市民の皆様や各事業所のご理解、市をはじめとする関係団体のご協力をいただいたおかげと感謝いたしております。

令和4年度事業計画に基づく結果については次のとおりです。

## 記

### 1. 活力ある組織の確立

#### (1) 公益社団法人としての確かな組織運営、財政運営の確立(自主財源の確保)

センターの課題等を共有するため、理事会・班長会等で事業の進捗、会員の状況等を説明するとともに、機関紙により会員向けに情報を提供した。

#### (2) 経営にあたる役員(理事等)の意識高揚の拡大

役員へは、センターの運営状況を理事会及び会報等により定期的に報告するとともに、各専門部会、委員会の会議等にて、経営状況やこれまでの経過、各部門の課題等を共有し意識を高めた。

#### (3) 地域(地区・班)における会員相互の連携による活動の推進

- ・センター情報誌等を地域班を通じて定期的に配布し、地域の連携を深めた。
- ・地区別班長会を実施し、センターの課題や地域ボランティア活動等について意見交換を行うとともに、ボランティア活動を通じて会員相互の交流を図った。

#### (4) 職群班における共働・共助の意識の高揚

- ・職群班の意識高揚のため10月のボランティア活動へ参加するとともに、安全作業に関する情報提供等により意識の共有を図った。
- ・技術後継者育成のための研修会・講習会を実施した(剪定・草刈り払い)。

#### (5) シニア層を対象とした就労サポート機能の強化

就労サポートの強化を図るために、会員向けの情報端末機をセンターロビーへ設置し、求人の現況を表示し活用した。

## 2 安全の徹底と適正就業の推進

### (1) 安全確保と事故防止に向けた安全パトロールの実施と指導強化

安全対策委員会による安全パトロールを毎月実施し、安全作業への意識を高めた。また、今年度は告知なしでのパトロールも実施した。

### (2) 安全意識の高揚と自主点検・自己管理の徹底

安全講習会を年間 2 回実施し、夏期 25 人、冬期 51 人の参加があった。その際には消火・避難訓練や交通安全についての講話及び事故事例、安全機具の紹介などを行い、安全就業に対する意識を高めた。

### (3) 健康管理のための研修充実と健康診断受診の奨励

安全講習会時に健康管理講座(特に熱中症)を実施し、健康への意識を高めた。

### (4) 入会時や入職時及び経験年数に応じた教育・各種研修の実施

- ・派遣会員に対しては計画的に研修を実施し、57 人の受講があった。
- ・自動車運転を業とする会員に対し、運転技術講習会を実施した(11 月)。

### (5) 事故の要因の分析・検証、及びその結果の周知体制の強化

- ・安全対策委員会及び安全講習会にて、事故の状況報告や原因の分析を行い、安全就業に関する意識の高揚を図った。

## 3 就業機会の拡大と会員力の向上

年間契約目標金額 326,700 千円に対し実績は 371,469 千円で、達成率は 113.7%となった。

### (1) 会員のスキルアップ、ニーズに合った研修講座の開催

- ・スマホ講座(7月)、初級向け剪定技能講習会(2月)、草刈り払い機安全取扱講習会(3月)を実施し、会員の技術取得を行った。
- ・パソコン技術の資格取得のための会員の研修を実施し、資格取得を助成した(10月)。

### (2) 地域のイベント等を活用したセンター事業のPR

新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの地域行事が中止となったが、各地域においてボランティア清掃等の活動を行い、地域貢献をPRした。

### (3) 地元メディアを活用した就業確保のPR

- ・地元タウン誌 2 誌及びケーブルテレビを活用した広報活動を展開した。
- ・公園の清掃ボランティア活動、市役所への門松設置、互助会イベントなどをメディアに取り上げてもらい、会員獲得及び事業獲得に努めた。

### (4) 人手不足分野や今後需要が見込まれる分野における研修の充実及び企業等との連携 介護関連事業所へシルバーができることの情報提供を行った。

### (5) 介護分野の担い手として会員が活躍できる仕組みづくり

介護制度及び介護補助員の業務を学ぶ講習会(10月県主催)に 5 人が参加した。

#### 4 会員の拡大

年度末目標会員数 763 人に対し実績は 744 人で達成率は 97.5%となった。

##### (1) 市民を対象とした魅力ある講習会の開催による会員確保

会員及び市民向けにスマホ講座、女性健康エクササイズ講座、初級者向け剪定講習会を実施し、会員拡大を図った。

##### (2) 身近なメディア及び会員のアイディアを活用した PR の展開

- ・新たに CM ビデオを会員の企画・出演で作成し、ケーブル TV で放映した(9 月)。
- ・センター行事がケーブル TV 等にて放映され、活動を紹介することができた。

##### (3) 会員による積極的な入会促進(一人一会員)

入会説明会参加者のアンケートでは、会員からの声掛けや仕事ぶりを見たというのが大きな動機付けとなっており、会員へ随時呼びかけをお願いした。

##### (4) 女性会員及び夫婦会員の増へ向けた展開

女性会員増と女性会員活性化施策として、女性協議会を設置し様々な活動を行った。

- ・新たな CM ビデオでは、女性会員を前面に出し、女性をターゲットとしたものを制作し広報した(今年度 8 月制作)。
- ・年間女性入会数 22 人、年度末女性会員数 243 人、夫婦会員数 39 組

##### (5) 高齢者雇用安定法改正に伴う会員確保の充実

センターは働くだけではなく、高齢者の充実した日々の活動や健康維持の面においても魅力があることを意識した広報を行った。

#### 5 シルバー派遣事業の確立

##### (1) 派遣先との連絡調整を深め、派遣事業への理解を求める

同一労働・同一賃金に伴う待遇の調整や、派遣会員としてのスキルアップへ向けた研修を実施した。

##### (2) 労働安全衛生法等への対応

衛生委員会においては、派遣会員の健康の保持及び適切な就労支援策として、熱中症予防パンフレットの配布を行い、会員へ健康管理意識を促した。

#### 6 社会奉仕活動等

##### (1) 就業やボランティア活動を通じて地域社会に貢献し、生きがいや喜びにつなげる

10 月には市内公園 2 か所(70 人参加)、春期には各地域班が主体となつてのボランティア活動(126 人参加)を実施し、地域への貢献を PR するとともに会員間の交流を図った。

##### (2) 互助会と連携した事業(行事)の検討

互助会各種イベントにおいて広報や実施の協力をし、会員の充実した活動を支援した。

##### (3) 環境事業(剪定くず処理等)に関わる調査研究の継続

剪定くず等の再利用化研究を継続して実施し、環境に配慮した事業運営を行った。